

A
J
U

みずほ

2020年6月23日

NPO 法人高次脳機能障害友の会みずほ発行
会報 第81号(総会号)



〒460-0021

名古屋市中区平和 2-3-10 仙田ビル

電話/FAX 052-253-6422

メールアドレス npo-mizuho@miracle.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.npo-mizuho.com>



一寸先はどうなるか分からない

高次脳機能障害友の会みずほ理事長 吉川雅博

2020年の春から新型コロナウイルス感染予防のため、外出の自粛など誰もがこれまでの生活を大きく変えざるを得なくなりました。変化に対応することが難しい人が身近にいる場合は、その方の対応に苦慮された方が多かったのではないかと思います。コロナウイルスの感染リスクは2~3年継続するという見方もあるようで、収束までにはまだまだ道半ばと気を引き締めた方がよいようです。

ウイルスとの戦いは、人類の永遠の課題とも言われ、ヨーロッパでは1348年から1420年頃中世ヨーロッパでペストが大流行しました。死者数は、2000~3000万人とも言われています。日本の奈良時代は、政変・干ばつ・飢饉・凶作・大地震・天然痘の大流行などが相次いだそうです。

しかしこのような時こそ、ピンチをチャンスに変えることができるのではないかと考えます。例えばテレビの「リモート」です。移動する手間が省け、このような機能が簡単に実現できるのであればトーク番組の出演者は気軽に自宅で出演できます。また社会が混乱しているときは、世の中の慣習を比較的簡単に換えられそうです。例えば日本は「はんこ文化」です。在宅勤務の社員がわざわざはんこをもらうために出勤したことが報道されていました。

未来を予測するのは難しいですが、これからどのような技術が開発されどのような社会になるのか楽しみです。どのような社会になるのか、だんだん楽しみになってきました!!



新型コロナウイルス感染症も幾分落ち着いてきていますが、いかがお過ごしでしょうか？今年度は日本高次脳機能障害友の会の理事会もオンラインでの会議となり、お顔を見ながら意見交換することができました。また、それに先駆け顧問である神奈川リハの地域リハビリテーション支援センター高次脳機能障害支援室の瀧澤統括主査の発案で、感染症予防のために自宅で過ごされている高次脳機能障害者の方に「高次脳機能障害がある方の日中活動について」（新型コロナウイルス感染防止に伴う外出制限等への対応）を日本高次脳機能障害友の会のHPにもアップしていただきました。それを受け、みずほHPの「お知らせ」にも載せましたので、ぜひ読んでみてください。

日本高次脳機能障害友の会では、ラジオ体操で全国をつなごうと各県の支援者・家族会の皆さんから送られた動画を毎朝・夕HPに載せています。5月11日に古謝理事長からスタートし、以後続々動画が更新されています。愛知県では、5月28日にみずほ顧問の大同病院・だいどうクリニックリハビリテーション科部長深川先生と同病院認定看護師の藤山さん、6月8日に名古屋リハ高次脳支援課の方々、6月16日にはみずほキッズ・家族がラジオ体操をリレーでつなぐ動画もアップされました。

まだまだマスク着用の日々が続きますが、水分補給も忘れず体調には充分お気をつけください。(河田)



(第15回総会資料)

高次脳機能障害友の会みずほ

脳外傷・高次脳機能障害者及び家族に対する相談・生活支援活動及び福祉・医療関係者も含めた情報収集・伝達など、高次脳機能障害に対する理解を広める研修啓発事業を行います。

第1号議案 令和元年度事業報告

第3号議案 令和2年度事業計画(案)

	平成31年4月1日～令和2年3月31日	令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業 高次脳機能障害者及び家族のための相談・支援に関する	・当事者・家族・支援者からの相談を電話・メール・来所により受け付け(96件) ・県の委託を受けて愛知高次脳機能障害協議会の一員として相談会を開催、2人体制で対応(30件) ・地区会の活動をサポート 知多地区：年7回 尾張西部地区：年3回 ・企画(当事者)グループの活動を支援(毎月第4日曜)・若い失語症者のつどい(隔月開催)・キッズプラス(8月・3月)・ミラクル(妻の会)・レディースの会(春・秋)開催、交流の場を設けた ・「働く仲間の集い」を名古屋リハ就労支援課と連携して初めて開催 2/15 (9名参加) ・当事者・家族会向けのクリスマス会を開催 12/21 ・みかんやまハウス(今年度利用者なし)	・当事者・家族からの相談を電話・メール・来所により受け付け(月・木) ・愛知高次脳機能障害協議会の相談会を引き続き開催 ・企画(当事者)グループの余暇活動を支援、また地区会・若い失語症者のつどい・キッズプラス・ミラクル(妻の会)・レディースの会、などの活動を継続する ・「働く仲間の集い」を名古屋リハと連携を取りながら継続する ・当事者・家族会向けの交流会を開催予定 ・一人暮らし体験の場の提供を継続し、自立に向けて支援する
高次脳機能障害について正しい理解を広めるための事業	・NP0法人脳外傷友の会みずほ第14回総会 R元年5月11日 イーブルなごや グループ別相談会 就労相談：名古屋リハ 佐野 恭子氏 生活相談：名古屋リハ 田中 雅之氏 福祉相談：みずほ理事 平野 陽介氏 ・全国キッズネットワーク宿泊イベントin愛知 美浜少年自然の家 11/2～11/3 (128名参加) 講演会：講師 片桐 伯真氏・太田 令子氏 グループワーク 当事者家族 専門家 ・地域勉強会in長久手 2/8 (40名参加) 「高次脳機能障害の方への地域支援」 講師：深川 和利氏 ・損保リハビリテーション講習会 11/23 (325名参加) ・日本高次脳機能障害友の会全国大会in香川 10/18～19 ・岡崎市市議会議員へ陳情 1/27 ・日本脳損傷ケアリングコミュニティー学会 三重大会打合せ 1/19 2/16 ・東海ブロック会議 (静岡) 2/7 ・バザー開催 刈谷 10/20 ・会報誌みずほ発行(年4回) ・高次脳機能障害啓発のための冊子販売	・NP0法人高次脳機能障害友の会みずほ第15回総会 R2年5月9日 イーブルなごや 2部の内容について 県警のぞみグループ「特殊詐欺被害防止教室」による寸劇を予定 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止 ・キッズプラス講演会開催予定 7/12 テーマ：「性に関する講習会」 講師：日本福祉大学の伊藤修毅先生 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為に延期 ・地域講習会開催予定 ・損保リハビリテーション講習会秋頃開催予定 場所：中区役所ホール ・日本高次脳機能障害友の会全国大会in福島 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為に次年度に延期 ・東海ブロック会議 ・バザー開催予定 刈谷 ・会報誌みずほ(年3回予定) ・高次脳機能障害啓発のための冊子販売

(第15回総会資料)

ワークハウスみかんやま

障害者総合支援法による就労継続支援事業B型として、今後も関係機関との支援ネットワークづくりや組織の基盤づくりを行います。また利用者のニーズを把握し、質の高い支援を行える職員の育成に重点を置いて実施します。

第1号議案 令和元年度事業報告

第3号議案 令和2年度事業計画(案)

	平成31年4月1日～令和2年3月31日	令和2年4月1日～令和3年3月31日
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス	<開所> 就労継続支援B型 9:30～16:00 毎週水曜 9:30～15:00 第2土曜 10:00～15:00 <活動の状況> 登録者22名 一日平均利用者12名 <職員体制> 施設長・常勤2名・非常勤3名 看護師1名・パート4名 <作業内容> 施設内作業:DMセット封入封緘・化粧品サンプルセット、箸作業、両面テープ貼り、ビニール袋針金通し 施設外作業:寺院清掃・駐車場清掃・農園作業 出張所作業:名古屋市障スポCにてCaféすてっぷ営業 店頭販売:事業所駐車場、中区役所(なかよしマーケット)、ソーネおおぞねショップ、名古屋スポセンにて販売(季節の野菜、果物、ジャム、アロマなど) <取り組み・成果> ・土曜開所日に店頭販売をすることで地域との交流が広がった ・名古屋市障スポC喫茶caféすてっぷを営業 営業日:木曜～日曜 弁当受注により収益増となった ・医師による健康講話、看護師の配置により毎週火曜日健康体操・脳トレを実施 ・運動としてボッチャ大会を行いチームでの協調性、コミュニケーション能力の活性化へとつながり全員が集中し、楽しむことができた ・就労移行支援事業所に2名、就労継続支援A型事業所に1名それぞれ移行(パソコン中心) ・利用者1名caféすてっぷのアルバイトとして雇用 ・作業療法士の関わりで支援方法、対応策を学ぶ <支払い工賃> 1人当たり平均工賃 8,066円(前年5,844円) <行事> (時間額工賃総額÷支給総時間数) ・地域活動参加:防災訓練・公園清掃 ・サロン活動:カラオケ・健康麻雀(毎月) ・事業所行事・映画鑑賞 ・名古屋場所見学・ ・OB会&バーベキュー ・うなぎパイ工場見学 ・大掃除&忘年会 ・防災訓練 非常食試食	<開所> 就労継続支援B型 9:30～16:00 毎週水曜 9:30～15:00 第2土曜 10:00～15:00 登録者及び現利用者の利用日数を増やす <職員体制> 施設長・常勤3名・非常勤3名 看護師1名・パート4名 <作業内容> 前年度に引き続き行い、新規開拓を図る <取り組み> ・生産活動その他の活動を通して、知識及び能力の向上のために必要な訓練を効果的に行う ・相談支援事業所との連携を充実させる ・喫茶Caféすてっぷを引き続き営業し、体験の機会を充実させる ・地域での店頭販売の開拓を継続して行う ・上記の活動と並行して、就労準備活動(マナー講座等)や販売促進グループ会議等のグループワークを行う ・パソコン練習を行う ・職員向けの勉強会を行う ・工賃増額に見合った作業受託の為の営業活動 <行事> ・地域のイベントに参加 ・麻雀・カラオケ等サロンの活動 ・みかんやまOB会・工場見学など ・クリスマス会、大掃除・忘年会 ・スポーツ(ボッチャ)・防災訓練

第三種郵便物承認 令和2年6月23日(火曜日増刊)

(第15回総会)第2号議案 令和元年度活動計算書 及び第4号議案令和2年度活動予算(案) (単位:円)

科目	令和元年度			令和2年	説明
	予算	決算	増減額	予算	
I 収益の部	(A)	(B)	(B-A)	(C)	
会費収益	700,000	634,000	-66,000	700,000	正会員3000円×210人 賛助2,000円×30人 ※見込人数
寄付金	600,000	1,004,000	404,000	1,000,000	自動車教習所協会・弁護士全国ネットワーク会員・一般
補助金・助成金	550,000	451,700	-98,300	650,000	処遇改善一時金・その他補助金
雑収益・受取利息	150,000	138,469	-11,531	150,000	利息・バザー・損保講習会準備費など
事業収益					
①障害福祉サービス事業収益	31,000,000	31,241,434	241,434	31,000,000	給付金・作業受託・利用者負担金・物品・喫茶café売上など
②研修啓発事業収益	50,000	828,298	778,298	50,000	冊子販売収入・キッズイベント助成金、愛知高次脳機能障害運営費等
③生活支援事業収益	500,000	300,000	-200,000	500,000	4階居室料など
当期収入合計(A)	33,550,000	34,597,901	1,047,901	34,050,000	
II 支出の部					
1、事業費					
①障害福祉サービス事業					
(1)人件費	21,000,000	19,622,680	-1,377,320	21,500,000	給与・賞与・社会保険料・通勤費・利用者工賃・各手当等
(2)その他経費					
消耗品・事務用品費	250,000	315,721	65,721	300,000	インク・用紙・一般雑貨費
旅費交通費	135,000	104,260	-30,740	130,000	出張費・交通費
通信運搬費	150,000	182,842	32,842	170,000	携帯・電話代・郵送料など
地代家賃・賃借料	5,000,000	5,157,988	157,988	5,100,000	家賃・リース料金(複合機・ビジネスホン・印刷機)
水道光熱費	460,000	392,491	-67,509	400,000	電気・ガス・水道料金
車両費・車両維持費	200,000	138,687	-61,313	200,000	ガソリン代・定期点検・自動車税
業務委託費・外注費	170,000	367,976	197,976	200,000	作業療法支援ネット・印牧クリニック(勉強会)・看板・職員募集広告
保険料	320,000	285,100	-34,900	300,000	自動車保険(2台)・傷害保険・火災保険等
雑費・その他	3,200,000	3,629,511	429,511	3,200,000	教育訓練費・修繕費・設備費・諸会費・原材料等 減価償却費等
①障害福祉サービス事業支出合計	30,885,000	30,197,256	-687,744	31,500,000	
②研修啓発事業費	50,000	727,363	677,363	100,000	キッズ宿泊イベント講演会・冊子仕入れ等売り上げ原価
③生活支援事業費	1,000,000	796,562	-203,438	800,000	地区会・各会の集い等、みかんやまハウス3、4階地代家賃等
事業支出合計	31,935,000	31,721,181	-213,819	32,400,000	
2、管理費					
人件費	450,000	476,822	26,822	500,000	パート事務員給料・通勤手当等
旅費交通費	200,000	174,410	-25,590	180,000	日本高次脳総会出席・交通費
通信運搬費	90,000	117,759	27,759	100,000	会報発送・ゆうメール・電話料金等
消耗品・事務用品費	60,000	174,705	114,705	115,000	インク・会報用紙 封筒・雑貨類等
外注費	150,000	162,994	12,994	130,000	みずほリーフレット作成・会報作業委託・消防点検
総会費・諸会費・会議費	130,000	85,921	-44,079	100,000	会場費・日本高次脳会費・全国大会協賛金他
水道光熱費・地代家賃	420,000	408,968	-11,032	410,000	家賃・光熱費
雑費・その他	100,000	64,766	-35,234	100,000	租税公課・保険料・支払い手数料等
管理費支出合計	1,600,000	1,666,345	66,345	1,635,000	
当期支出合計(B)	33,535,000	33,387,526	-147,474	34,035,000	
当期収支差額(A-B)	15,000	1,210,375	1,195,375	15,000	
前期繰越収支差額	36,643,936	36,643,936	0	37,854,311	
次期繰越収支差額	36,658,936	37,854,311	1,195,375	37,869,311	

(第15回総会資料)

監査報告

特定非営利活動法人 高次脳機能障害友の会みずほの定款第49条に基づき、法人の令和元年度の事業報告書、貸借対照表、活動計算書、財産目録の決算に関する書類を監査した結果、適切かつ適正であると認めましたので報告致します。

令和2年 5月 9日

監事

高橋 多美子

顧問

小川 鉄男 名古屋リハ第1リハビリテーション部長
田中 雅之 名古屋リハ自立支援部長
深川 和利 大同病院・だいどうクリニックリハビリテーション科部長

理事長 吉川 雅博
副理事長 河田 幹子
理事 市川 幸夫 伊藤 美知子 大澤 奈保美
佐藤 道子 長谷川 真奈美 平野 陽介
松田 妙子 丸山 秀樹

監事 高橋 多美子

ワークハウスみかんやま職員

施設長 河田 幹子
サービス管理責任者 濱島 佳文
職業指導員 押川 貴美子
生活支援員 北村 麻衣
生活支援員 小林 幸喜
生活支援員兼事務 佐藤 道子
看護師 高野 静子
パート 4名

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
よって、運営委員の皆さまに書面にて承認いただきました。